

FIC オープンセミナー
Habitat for Humanity—世界の住居環境改善のために—
法政大学生によるインドネシア活動報告

●企画趣旨

ハビタット・フォー・ヒューマニティ（Habitat for Humanity）は、誰もがきちんとした場所で暮らせる世界を目指して、70 カ国以上で住居支援を行っている国際 NGO です。この団体が 2019 年 2 月に実施した Global Village 海外派遣プログラムで、インドネシアのセロパミオロ村を訪問し活動に参加した国際文化学部を含む法政大学生 8 人が、現地の様子や活動内容について報告します。また、ハビタット・フォー・ヒューマニティ日本支部のスタッフが、資金の使われ方や、海外派遣プログラム後の村の状況について、対話形式でお話します。このセミナーを通して、インドネシアのセロパミオロ村の人たちが抱える住まいに関する困難、その解決に向けた NGO 活動の現状、また法政大学の学生が現地訪問で学んだことを共有し、セミナーの参加者と一緒に世界の住居問題、その解決に向けて学生・市民にできることについて考えたいと思います。

●日時 2019 年 4 月 27 日（土） 13:00—15:00

●会場 法政大学市ヶ谷キャンパス ポアソナードタワー3 階 0300 教室

●主催

Habitat for Humanity Global Village Program 参加者
法政大学国際文化学部

●参加費

無料

●問い合わせ先

メール：2019.clan.spring.gv@gmail.com（吉田）
smatsumoto@hosei.ac.jp（松本）